

国際広報メディア・観光学専攻

国際広報メディア研究コース

令和6年度
後期

日本語論述

10:00～12:00

解答上の注意

1. 試験開始の合図があるまで、この問題紙を開いてはならない。
2. 問題紙はこの紙を含めて2枚ある。
3. 解答用紙(25字×40行=1000字)は2枚ある。
4. 解答用紙は2枚とも必ず提出すること。
5. 受験番号はすべての解答用紙の指定された箇所に必ず記入すること。
6. 選択した問題番号はすべての解答用紙の指定された箇所に必ず記入すること。
7. 解答はすべて解答用紙の指定された欄に記入すること。
8. 下書き用紙は別途配布されるが、問題用紙の余白を下書きに使用しても差し支えない。
9. 問題紙および下書き用紙は持ち帰ること。

以下の問題 1～4 のうちから 1 題を選択し、1600～2000 字の日本語(横書き)で記述しなさい。なお、適当な箇所で改行して段落に分けること。また、字数は改行のための空を含めて計算する。

【問題1】

近年、トリップアドバイザーやぐるなびなどのプラットフォームの登場により、口コミ情報が特定のサイトに集中する現象が起きている。こうしたプラットフォームに書き込まれた口コミ情報は、従来の情報源である広告よりも潜在顧客の意思決定に大きな影響を与えていると言われている。しかし、サービスに対する顧客の評価は人それぞれであるため、予期せぬ悪い口コミが書き込まれることもある。

もしもあなたがマネージャーを務めるホテルに対して悪い口コミが書かれた場合、あなたはどのような対策をとるだろうか。口コミ情報の特徴を踏まえながら、あなたの考えを論じなさい。

【問題2】

広報活動や広告が、さまざまな社会的課題について、人々の問題意識を喚起したり、積極的な議論を引き起こしたりすることがある。だが、その一方で、多くの批判や論争を生んでしまう場合もある。こうした広報活動や広告について、成功または失敗の具体例を挙げ、その内容、制作、消費・受容、伝達といった観点から多角的に論じなさい。

【問題3】

人間の言語は日々変化しており、何が「正しい文法」であるかは母語話者の間でもゆれがある。例えば、英語の *they* は 3 人称複数の代名詞であるが、21 世紀初頭から、自身をノンバイナリーと自認する人、自分の性別がわからない、明らかにしたくない個人を指すときの 3 人称単数の代名詞として使用されるようになってきた(例: “This is my friend, Jay. I met them at work.” (Merriam-Webster dictionary, 2019))。しかし、英語の母語話者でもこの用法を「文法的に間違いである」とみなす者も少なくない。まず、あなたにとっての「正しい文法」を具体例を挙げながら定義づけなさい。その上で、上記のような新しい用法が出現した時、その用法を文法的に「正しい」とするべきか否か、具体的な根拠を用いてあなたの見解を述べなさい。

※出典: Merriam-Webster dictionary. (2019) “Words We’re Watching: Singular ‘They’”.

(<https://www.merriam-webster.com/words-at-play/singular-nonbinary-they>)

【問題4】

ソーシャルメディアによる不正の告発や批判が、これまでマスメディアが担っていた告発や批判の役割の特権性を脅かしているという見方がある。こうした見方を具体例をもとに説明し、そのような見方が生じる理由を論じたうえで、マスメディアがすべきことについて、あなたの考えを述べなさい。